



東栄のふしバル

令和5年

文化の日

11月3日 金

10:00~15:40 雨天決行

会場

東栄ドーム

東栄町総合社会
教育文化施設内

住所 / 愛知県北設楽郡東栄町本郷上大林 1

プログラム

- 10:00~ ● とうえい物産展
- 11:00~ ● へぼサミット (同時開催: 野球場)
- 11:20~ ● 和太鼓発表 (東栄小学校)
- 12:00~ ● 開会式
- 12:40~ ● 花祭 (中在家花祭保存会)
- 13:45~ ● 和太鼓演奏 (志多ら)
- 14:50~ ● 花祭 (中設楽花祭保存会)

※諸般の事情等によりイベント内容、時間等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 同時開催イベント -

東栄町の観光情報

東栄町のグルメ情報や、宿泊施設などは「東栄町のじかん」で検索!

へぼサミット開催

- 花祭部 -

花祭体験コーナーも同時開催!

11.27
あいち県民の日



車でお越しの場合

【豊川ICから 約1時間10分】

豊川IC 151 新城 151

【名古屋ICから 約1時間40分】

名古屋IC 東名高速道路 豊田JCT 伊勢湾岸自動車道

豊田東JCT 新東名高速道路 新城IC 151

【浜松いなさ北ICから 約40分】

浜松いなさ北IC 三遠南信自動車道 鳳来峡IC 151

アクセス



東栄ドーム

JR飯田線「東栄駅」下車

↳ 町営バス「本郷」下車

↳ 徒歩10分



電車でお越しの場合

主催・問い合わせ先

東栄町 (所管: 経済課) TEL:0536-76-1812

協力: 一般社団法人東栄町観光まちづくり協会

東栄へぼ会

三遠南信住民ネットワーク協議会



花祭

— HANA MATSURI —

毎年11月から1月にかけて町内10地区で開催される「花祭」。国の重要無形民俗文化財にも指定されている「花祭」は、悪靈を払い除け、神人和合、五穀豊穡、無病息災を祈る目的で、鎌倉時代から代々親から子、子から孫へと伝承されてきた神事芸能です。およそ40種類にも及ぶ舞が夜を徹して行われ、訪れたたくさんのファンが舞手と一体になり「てーほへ、てほへ」の掛け声とともに盛り上がります。

平成30年には東栄町・設楽町・豊根村で構成する「北設楽郡花祭保存会」が「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」（主催：一般社団法人地域芸能活用センター）を愛知県内で初めて受賞しました。

もっと知りたい！

花祭会館にお越しください！



お問い合わせ
東栄グリーンハウス
TEL:0536-76-1266

鬼面や衣装、映像の他、(詰める)国登録民俗文化財の「大入の花祭用具及び関連資料」をはじめとする貴重な資料などが展示されています。

- 9:00~16:00
- 月曜日休館 ● 入館料 320円

- 花祭部 -

花祭体験コーナーも同日開催します！

舞の実演を見るだけでなく、実際に手で触れて花祭の一部を体験できるブースを用意します。実際に祭りに携わる若手の話や、花祭に関する困りごとや素朴な疑問などの相談も受け付けます！

【お問い合わせ】東栄町観光まちづくり協会 TEL:0536-76-1780

- ありがとうさま券情報 -

イベント会場の出展ブースでは、プレミアム付商品券「ありがとうさま券」ご利用可能です。1口1,000円で1,400円分が使えるお得なデジタル商品券で、スマートフォンアプリLINEで使うことができます。

購入はこちらから



※販売数量に限りがあります。売切の際はご容赦ください。

【ご来場の皆さまへ】

体調に不安のある方、発熱等の風邪等の諸症状の自覚がある方、ご家族等に症状のある方は、イベントへの来場をご遠慮ください。



ステージエリア内での飲食はご遠慮ください。
(体調管理上必要な水分を除く)

当日の演目次第

花の舞 - 湯桶 - (中在家花祭保存会)

花の舞は稚児の舞ともいい、子供の初舞台となる舞で花笠を持って舞う扇・盆・湯桶と年々持ち物を変えて舞います。花の舞を終えると少年の仲間入りをして三ツ舞へと進んでいきます。



地固めの舞 - 剣 - (中在家花祭保存会)

地固めの舞は青年2人の舞で、舞庭を踏み固め清める舞です。舞の前に清め塩と清め水にて舞庭を清めます。持ち物により扇・野刀・剣の3折の舞があります。



神鬼 (中在家花祭保存会)

神鬼は花祭の目的である「生まれ清まり」を実現するための呪法である「反問」を踏む唯一の鬼で、このことから最も重要な役鬼とされ、花祭のシンボルでもあります。「反問」の所作には大地の精霊を呼び覚まし生命の復活をなすという大切な役割があります。



花の舞 (中設楽花祭保存会)

花の舞は花祭で初めに習う舞です。花笠をかぶった3人の舞手が右手に鈴、左手に扇子を持ち舞います。子どもたちの初舞台です。初々しく華やかに舞う姿をご覧ください。



大蛇退治 (中設楽花祭保存会)

古事記に登場する大蛇退治を舞庭で表現します。須佐之男命の持つ柄杓(ひしゃく)の酒に誘導され大蛇が登場し、大蛇の活気に満ちた姿を5人の舞手が息を合わせて躍動します。須佐之男命が大蛇を退治する勇壮な姿をご覧ください。



湯ばやし (中設楽花祭保存会)

湯ばやしは4人の青少年による舞です。舞手は両手に藁を束ねた「たわし」を持ち、テンポの早い拍子で軽快に舞います。最後に釜の湯を豪快にまき散らし、舞庭をより一層盛り上げます。この湯を浴びると、一年健康に過ごすことができると言われています。湯ばやしは、花祭のクライマックスです。



※諸般の事情等によりイベント内容、時間等が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

東栄フェスティバル
紹介はこちら



花祭
各地区の詳細情報はこちら

